

# 市議会議員選挙 候補者推薦決定

野洲市・東近江市・甲賀市 10月13日(日)告示 20日(日)投票  
 湖南市 10月20日(日)告示 27日(日)投票

野  
洲  
市



まるやま けいじ  
**丸山 敬二**



やまもと つよし  
**山本 剛**

東  
近  
江  
市



おかざき よしかず  
**岡崎 嘉一**

甲  
賀  
市



もりしま かつみ  
**森嶋 克巳**

湖  
南  
市



いしはら よしはる  
**石原 善春**



あかさふ ゆみ  
**赤祖父裕美**

連合滋賀構成組織、地域協議会、組合員の皆さんの総力を結集し、推薦候補者への力強いご支援をお願いします。

そして、労働者や市民の声を市政に反映させましょう！

## 飢餓に苦しむアフリカの人々へ支援米を送ろう！ 稲刈りボランティア募集中！

日 時：9月14日（土）13時から（15時終了予定）＊雨天の場合は中止  
 場 所：高島市城山台1丁目1-12（JR近江高島市駅徒歩2分）  
 作 業：鎌を使って稲刈りをします（汚れてもよい服装でお越しください。長靴をご用意ください。）  
 問い合わせ：連合滋賀またはアジア・アフリカ支援米滋賀県実行委員会事務局（077-522-7154）

## 2013 びわ湖クリーンキャンペーン

～みんなで守ろう!! ががやくびわ湖～

ごみのない美しいまちづくりに 働く仲間の力を結集しよう！

**9月29日（日）午前中** 荒天の場合は10月27日（日）

**近江八幡地区は9月28日（土）実施**

※集合場所や時間など各地域の取り組み計画は各地区労働者福祉協議会にお問い合わせください

主催：滋賀県労働者福祉協議会

日本労働組合総連合会滋賀県連合会（連合滋賀）

協賛：近畿労働金庫滋賀地区統括本部・全労済滋賀県本部・滋賀県勤労者住宅生協・滋賀県生協連合会



# 連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2013年9月10日  
 連合滋賀 第245号  
 大津市松本2丁目10-6  
 電話077-523-0500  
 発行・山田 清  
 編集・上田 薫  
 （定価 1部6円）  
 印刷 ユメディア株式会社

## 滋賀県最低賃金改正 730円で結審

2013年度の滋賀県最低賃金について審議する滋賀県最低賃金審議会が、8月26日に開催され、現行716円にプラス14円とする730円（10月25日発効予定）で結審しました。

私たち労働者側は、最低賃金法の目的である低廉な労働者を下支えし、その労働条件を整備するため交渉を進めてきました。特に雇用戦略対話における政労使合意でもある「早期に全国最低800円を確保し景気状況に配慮しつつ、全国平均1,000円をめざす」とのことを背景に、「特に、滋賀県は企業収益を含む県民所得は高いが雇用者報酬が低く、分配の歪みが生じている地域で、全国水準にプラスαの引き上げがあつて当然である」ことを主張しました。

使用者側は、「企業内の労使協議で分配率を出されるのは理解するが、審議会で出されるのは理解しがたい。また、目安12円も納得していないし、生活保護ルー

ルも納得できない。」との姿勢を崩しませんでした。このため、公益側は「労使双方の主張を理解しつつ目安+2円の引き上げ」の見解を示し、公益側、労働者側賛成、使用者側反対で最終的にプラス14円とする730円で結審しました。

連合滋賀では、労働組合の普遍的な活動の重要性を改めて強く認識し、これまで積み上げてきた地道な活動をさらに発展させつつ、最低賃金制度の発展に向け、春季生活闘争とその後の最低賃金の取り組みとの連動を強めながら、最低賃金運動の強化のため全組織が不転の決意で取り組みを強化しなければなりません。

## 「政策・制度要求と提言」を滋賀県に提出 「働くことを軸とする安心社会」に向けて政策実現に全力で取り組む

2014年度に向けた連合滋賀「政策・制度要求と提言」を9月5日（木）に滋賀県に提出しました。

連合滋賀は働く仲間や県民の暮らしを守るため、「働くことを軸とする安心社会」の実現を求めて、各構成組織や地域協議会、労協協等の要求や意見を集約し、滋賀県をはじめ各自治体に対する「政策・制度要求と提言」の取り組みを行っています。

今回、連合滋賀から滋賀県に提出した内容は、厳しい経済・雇用の状況のなかで、雇用の安定と地域経済の活性化などの労働政策や、福祉・環境・教育など、12課題57項目におよぶ広範囲なものとなっています。

提出にあたって、羽泉博史商工観光労働部長に「要求と提言」の概要および連合滋賀の考え方や重点施策を説明しました。



10月15日、16日、17日の3日間にわたっての滋賀県の9部局との協議では、議論を豊富化するために各部局での重点項目を設定し、連合滋賀の政策委員・執行委員を中心に活発な意見交換を行います。



## 核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を求めて

連合滋賀は今年も、8月5日（月）から6日（火）にかけて「2013平和行動in広島」に参加しました。「連合2013平和広島集会」では、主催者を代表して、連合・南雲事務局長から、「原爆投下から68年が経った今も、多くの被爆者が苦しみ、被爆認定の問題や被爆二世、三世の健康課題等が山積している。連合は、核兵器廃絶にむけた要請行動を引き続き展開し、世界にむけても強く働きをかけていく。また、2015年NPT（核兵器不拡散条約）再検討会議にむけて、核廃絶と世界の恒久平和の実現をめざし、職場や地域における核兵器廃絶運動を粘り強く取り組むことを誓います。」との挨拶がありました。集会には全国から連合組合員などおよそ2,000名が参加し、連合滋賀からも5名が参加し、2日間を通して地方連合会や構成組織の皆さんとともに、原爆がもたらした悲惨さをあらためて学び、平和への誓いを共有してきました。

自治労 湖南省職員労働組合 亀井 直弘  
2013年平和行動in広島に参加しました。まずお昼からピースウォークに参加し、原爆ドーム周辺と関連施設を見学しました。その所々で、当時の凄惨な状況を感じ胸が締め付けられる思いになりました。

ピースウォークが終わった後に出席した「連合2013平和広島集会」では、式が始まる前に滋賀の仲間たちから託された折鶴献納をさせていただきました。集会では、広島県原爆被害者団体協議会の坪井理事長から、原爆投下された時の状況について貴重な実体験を公聴することができ、驚きと悲しみを感しました。

集会が終わり、その足で原爆ドームに集会出席者で移動し夜空に明かりを照らしピースキャンドルを行いました。原爆を投下されてから68年経ちますが、未だに原爆被害に苦しんでいる方々が大量おられます。世界も原爆の脅威を十分分かっているはずですが、そのような中でも兵器として原爆は今も世界中で存在し続けているのです。

今回平和行動に参加することで、広島の実原爆ドームを初めて見る事ができました。その建物そのものが原爆の凄惨さを物語っていました。原爆根絶と語ることは容易いことです。しかし、語ったことを実現することは難しいのです。それでも、実現していかなければならないことが確かにあり、そのことを私たちは忘れてはならないのだと思います。

### 第1区地域協議会

#### 滋賀県教職員組合高島支部

##### 澤井 悠哉

私は今年、6年生の担任になりました。1学期から平和学習を6年生の子どもたちとしており、2学期の修学旅行では、広島まで行くことになっています。そこで、子どもたちがより充実した平和学習が行えるようこの企画に参加させていただきました。1日目、連合滋賀の方達と出会い、広島平和記念公園でのピースウォークや上野学園ホールでの平和集会に参加しました。

ピースウォークでは、広島記念公園の中にあるたくさんの慰霊碑や慰霊塔、また被爆したアオギリ等についての説明を聞きました。一つひとつにたくさんの人々の思いが込められていることを改めて感じました。上野学園ホールであった集会では、語り部の方の被爆体験証言がとても心に残りました。とても悲しくつらい経験をされても尚、力強く生きておられる姿にとっても感動しました。2日目の資料館見学では、当時の悲惨さや恐ろしさを五感で感じ、戦争を繰り返してはいけないと、強く思いました。



#### 私鉄県協 江若交通労働組合 辻 暢克

今回「平和行動in広島」に参加させて頂き、いろいろと身

に染みて考えさせられる事ばかりでした。まず、ピースウォークに参加し平和記念公園を回りながらいろいろ案内して頂きました。原爆ドーム、被爆したアオギリの木を實際、目の前にして原爆の脅威を知りました。そして、沢山の数の慰霊碑に爆心地でもあるこの場所が当時どんなに悲しく苦しくて辛い思いをした人が大勢いたんだろう…と大変胸が痛くなりました。夕方からは、被爆者の一人である坪井さんのお話を聞きました。当時大学生だった坪井さんは爆心地より1kmの路上で被爆され、その直後は、街も人も原形をとどめておらず大変恐ろしい光景だったそうです。

一番驚いたのは、終戦68年を迎えた今でも放射線の影響で病と闘われているという事で原爆というのは、放射線というものは人間に大きなダメージを与えるとても恐ろしいものだ改めて痛感しました。

今回平和行動に参加し、戦争の怖さ、原爆の威力を知り、二度とこのような事が起きてはならない、起こしてはいけない。と強く感じました。戦争のない平和な世界に一日でも早くなるように心から願っています。

### 第1区地域協議会 滋賀県教職員組合高島支部 岡本 和也

今回の平和行動に参加し、改めて戦争の悲惨さを感じました。ピースウォーク、平和広島集会では、多くの人の戦争への思いを知ることができました。実際に話を聞きながら平和公園を回り、原爆について考えさせられました。原爆ドーム、慰霊碑等を見学して、言葉では言い表すことができない何かを感じました。

平和広島集会での被爆体験の話（平和の語り部）を聞き、初めて戦争の本当の恐怖を感じました。本やテレビでは伝わりにくい8月6日の様子が伝わり、被害の大きさと放射線による被害を知ることができました。

当時、何が起きたのか。今でも苦しんでいる人がいる。原爆を含め戦争の被害は、心にも大きな傷跡を残している。これからのことを踏まえて平和について考えていきたいです。

## 2013「標語・川柳」入賞作品決まる

メーデーを皮切りに組合員の皆さんから男女平等参画にかかる「標語・川柳」を募集しました。

今年は118点の応募をいただき、男女平等推進委員会などで構成する審査委員会での審査の結果、最優秀賞、優秀賞が決定しました。ご応募いただきました皆様ありがとうございました。

### 最優秀作品

オトコマエ 昔イケメン 今イクメン

全印刷 西田 敬子さん

### 優秀作品（2点）

☆身につけよう 定時で帰る 仕事術 ☆なでしこを 活かす社会に 笑顔咲く

JAM（ダイキン工業労働組合）

土肥 浩資さん

U Aゼンセン（綾羽労働組合）

飯田 いづみさん

## 70 kgの外来魚を駆除し、琵琶湖の生態系を保護 第23回びわ湖クリーンフィッシング大会

連合滋賀青年委員会は、8月24日（土）琵琶湖畔8会場、恒例の「びわ湖クリーンフィッシング大会」を開催しました。この大会は「環境保全」と「生態系保護」を目的とした外来魚駆除の魚釣り大会で、8会場の外来魚総重量は70kgでした。

1990年の第1回大会より、今年で23回目となりました。昨年と同様、前日からの雨予報で参加者が減った会場もありましたが、お天気も持ち直し小雨が降ったりやんだりの天候の中、6年前からの、釣り竿の貸出や、エサの用意が定着してきたのか、雨合羽を着た子どもたちを連れ、家族で参加をしていただき、雨模様も関係なく釣りを楽しんでくれていました。

参加者の減少に伴い、釣果も昨年より減ったものの70kgの外来魚の駆除ができました。

外来魚がまだまだ琵琶湖には多いという現状を目の当たりにし、琵琶湖の環境に

ついてあらためて考えさせられました。

釣りだけでなく、周辺のゴミ拾いにも協力いただき、琵琶湖の環境について考えていただく機会になれば幸いです。

